

令和 6 年度
上小 PTA 連合会研究集会レポート

第 6 分科会

テーマ	地域と PTA の連携
-----	-------------

期日 令和 6 年 10 月 5 日（土）
会場 依田窪南部中学校

助言者・世話係	中村 斉江校長先生	塩田西小学校
司会者	須賀院 美由紀	豊殿小学校 PTA
発表者	長坂 篤志	豊殿小学校 PTA
記録者	上野 道夫	豊殿小学校 PTA
	藤森 和美	豊殿小学校 PTA



豊殿小学校 PTA

【学校紹介】

豊殿小学校は、昨年創立 150 周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。
また豊殿小学校には、豊かな自然と地域の皆様に温かく見守られた素晴らしい環境があります。こうした環境で各学年 1 クラスではありますが、子どもたちは生き生きと日々勉強に励んだり遊びに汗を流したりと学んでおります。PTA 活動も、『子供たちの為に』を第一に考え、親と学校が連携しながら活動を進めております。

1 テーマを取り上げた理由

昨年度 3 年振りに豊殿地域にて“あやめの里”ウォークラリーが再開され、子どもたちからの好評を受けて、今年も盛大に“あやめの里”ウォークラリーが開催されました。今年で第 32 回を数える“あやめの里”ウォークラリーは、地域と PTA と学校で作上げる、歴史のある『子どもたちの為』の行事です。“あやめの里”ウォークラリーの主催は、豊殿地域 自治会連合会であり、お金を出していただいております。只、準備に関しては PTA へ全て任されている状態となっており、5 月中旬の開催に向けて年度が変わる前より PTA 側にて準備を進めている形です。

今後も持続可能な行事とするため、PTA 側の負担軽減を考えて進めることが重要であると思い、テーマとして取り上げました。

2 活動の内容

第 32 回 あやめの里ウォークラリー スケジュール

- ・ 2 月下旬：自治会連合会 会合へ参加し、実施についての意思確認
- ※自治会連合会メンバーも 1 年毎に交代となる為、前年度引継ぎ項目であっても実施意思を確認する必要がある。自治会連合会での予算取りは、前年に実施。
- ・ 3 月：ウォークラリーコース決め / コース図作成 / ポスター・申込書作成
- ・ 4 月上旬：ウォークラリーPTA サポートメンバー募集・調整 / 景品検討
- ・ 4 月中旬：ポスター掲示 / 申込書配布 / 各所提出用書類の作成
- ※書類の提出に関しては、自治会連合会会長へ依頼。(市役所/警察署)
- ・ 4 月下旬：参加者〆切 / 人数確定 ⇒ 参加賞注文 / 地域に纏わる問題の検討
- ・ 5 月上旬：必要備品購入 / 当日のスケジュール作成
- ・ **5 月中旬：ウォークラリー開催**
- ・ 5 月下旬：ウォークラリー反省まとめ
- ・ 6 月下旬：自治会連合会 会合へ参加し、反省内容の共有

とにかく時間が無い中での準備となります。

この他に 4 月の PTA 活動として、幹事会/専門部会/PTA 総会などの準備もあります。



3 活動の成果

コロナ禍が明け、“あやめの里”ウォークラリーの再開については多くの意見を貰いましたが、持続可能な地域と連携した行事として、変革させてきた部分を紹介します。

- ・過去アイスクリーム/パンの配布がありましたが、昨今のアレルギー問題もあり廃止。子どもたちには、参加賞としてゴール後にお菓子の詰合せと飲み物を配布。
- ・ウォークラリーとの名称ですが、チーム毎に問題を解きながら歩く形式。タイムを計り、競う事も実施はしない。熱中症対策もありゴール後順次解散。
- ・事前の準備で袋詰め等手間が掛からない様、参加賞の準備は地域のお店に依頼。
- ・歩いて回る際に休憩場所のチェックポイントでは、自治会連合会の各自治会長よりチェックポイント通過のシールを貼って頂くなど、関わる場を準備。
- ・歩く距離も、小さい子どもと親と一緒に参加出来るように 5 キロから 3 キロへ変更。

結果・・・

参加者 150 名(前年より+50 名) 総勢 220 名で盛大に開催されました。自治会連合会・PTA・学校関係者の他にも、豊里・殿城地区安全協会・地域の消防団・UCV(上田ケーブルビジョン)・大屋交番の皆様にも参加いただき、改めて多くの方に 素晴らしい豊殿地域を感じて頂くことが出来ました。子どもたちの“郷土愛”にも繋がることとします。地域の方々に見守られて事故・怪我も無く無事に開催出来たことと、何より一番は、子どもたちの“笑顔”を沢山見る事が出来ました。

4 今後の課題

- ・毎年、自治会連合会の各自治会長も代わる中ですが、PTA 側の負荷軽減も考えて “共に”開催できるような連携が必要。
事前準備に、もっと自治会長たちにも関わって頂くなど。
- ・地域と子どもたちが繋がる素晴らしい行事ではあるが、5 月中旬のあやめが咲く時期の開催は、年度が変わって忙しい。時期の変更・見直し。
- ・子どもたちに楽しんでもらうためには、どうしていけばいいのか。
コロナ禍明けの持続可能な行事について、地域・学校・子どもたちと一緒に考えていく必要がある。

